

<第5回高速鉄道ネットワークのあり方検討委員会>

～用語解説～



NIIGATA
PREFECTURE

新潟県交通政策局

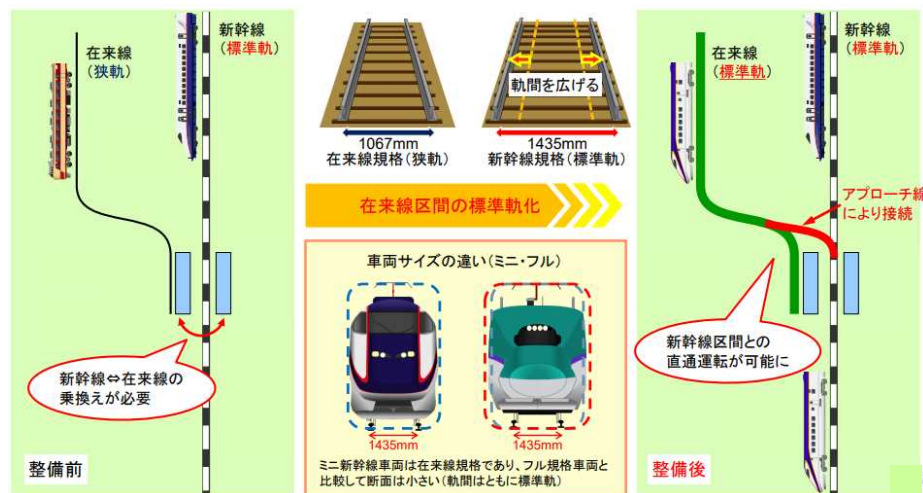
■標準軌

鉄道線路のレール幅が新幹線規格(1,435mm)のもの。

標準軌車両(新幹線車両とミニ新幹線車両)が走行する。

■三線軌

狭軌(在来線規格(1,067mm)のレール幅)の脇にレールを1本敷設することにより、狭軌車両(在来線)と標準軌車両(ミニ新幹線)が走行できるもの。



出典：九州新幹線(西九州ルート)の整備のあり方について(国土交通省鉄道局)

■ミニ新幹線

新幹線規格の線路を新規に建設することなく、既存の在来線を改軌(標準軌化)した上で新幹線路線と直通運転(新在直通運転という。)できるようにした方式。

秋田新幹線



秋田新幹線は東京 - 秋田間を結んでいます。盛岡 - 秋田間の田沢湖線と奥羽本線を新幹線車両が直通できるように改良し、1997年に開業しました。2014年には全ての車両がE6系に置き換えられました。

出典：JR東日本HP

山形新幹線



山形新幹線は東京 - 山形・新庄間を結んでいます。福島から山形までの奥羽本線を新幹線車両が直通できるように改良し、1992年に開業しました。1999年には新庄まで延伸開業しています。



■一線スルー化

駅において両側に振り分けられていた線路の片側を直線化するもの。
一線スルー化により、駅通過の際の速度を上げることが可能となる。



■副本線

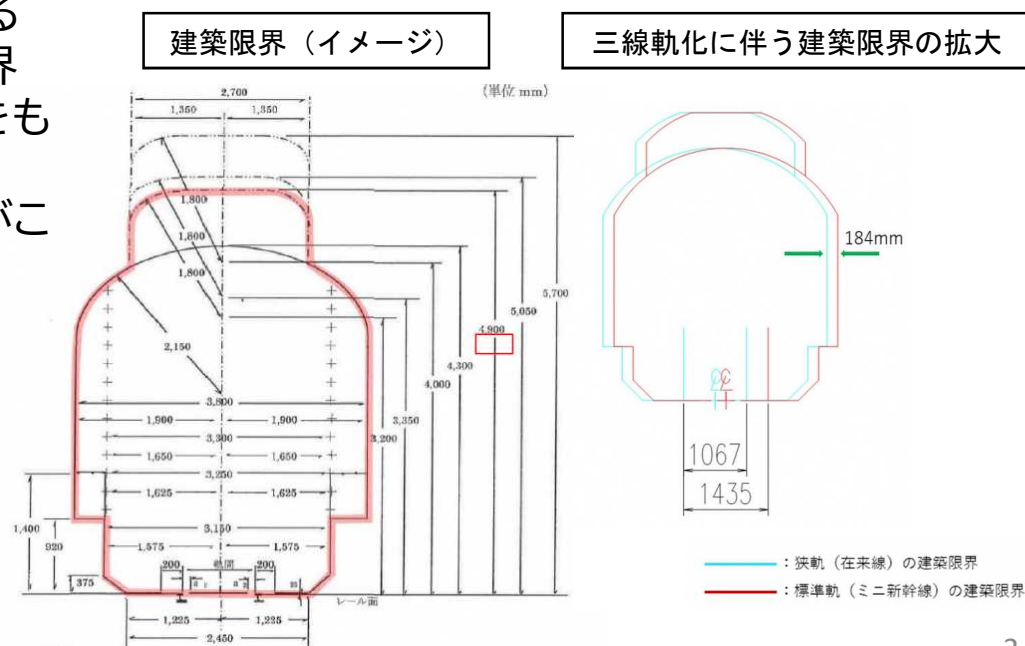
駅構内において同じ方向の本線が複数ある場合、最も主要な本線(主本線)以外の本線をいう。

■建築限界

列車が線路上を走行する際、周囲のいかなる建築物ともぶつかることのないよう、車両限界(鉄道車両の横断面の制限値)に相当の余裕をもたせて設ける空間の最低限の範囲のこと。

トンネル、橋りょう、駅舎など全ての構造物がこの限界の外側に位置する必要がある。

また、三線軌化により建築限界は拡大する。



■分岐器

列車を他のレール上に分岐させるための装置のこと。



両開き分岐器

出典：九州鉄道機器製造HP



片開き分岐器

■デッドセクション

電化された鉄道において、異なる電気方式などの接続点に設けられる、架線(列車に電気を供給する電線)に給電されていない区間・地点のこと。交流・直流に対応した車両が走行可能となる。

県内では、えちごトキめき鉄道の梶屋敷(交流20,000V・60Hz)～えちご押上ひすい海岸(直流1,500V)と、羽越本線の村上(1,500V)～間島(交流20,000V・50Hz)に設置されている。

